

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 5年 6月 29日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県鳥栖市村田町1250-1
特別養護老人ホーム真心の園内
団 体 名 特定非営利活動法人小児がん・まごころ樹
代表者職・氏名 理事長 中川原 章
電 話 番 号 0942-50-5542

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人小児がん・まごころ機構
- 2 事業実施期間 : 令和 4年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像
NPO小児がん・まごころ機構（以下、MOCC）は、世界規模で解決すべき小児がんの治癒率を上げるという目標のために、WHOや国際小児がん学会（SIOP）の協力を得ながら啓発活動を実施し、国内外へ情報発信も行っている。日本を含むアジアの小児がん関連団体であるアジア小児血液・がん治療研究グループ（APHOG）の事務局的支援を行うことにより、佐賀県から、国内、アジア、世界へと発信していく啓発及び支援事業を展開していく。それにより、県内の小児がん患者・家族を勇気づけるとともに、小児がんの子ども達が平等で質の高い診断と治療を受け、生涯にわたり安心して生活していくことができる、持続可能な社会の実現を目指したい。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか
佐賀県ふるさと納税による寄附を活用し、佐賀県民をはじめとした多くの人に、小児がんに関する啓発活動を行い、日本を含むアジアの小児がんの現状を周知することができた。また、「小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究」に関し業務受託し、小児がん患者・経験者の実体験に基づく事例集「未来へ向かう私たちの参考書」の発行に向けた業務支援を行った。佐賀県民に広く、国内外の小児がんの現状を知らせ、また、小児がんの当事者である患者・家族の支援が可能になった

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）
2023年2月に佐賀市で開催した「国際小児がんデー（ICCD）」のイベントでは、佐賀市内のティーンズミュージカルによる小児がんに関する寸劇もあり、全世界へライブ配信された。また、9月に東京で開催した「WHO GICC in Tokyo 2022」では、日本を含むアジア各国の小児がん治療の現状が伝えられ、同時通訳で発信された。これらイベントはMOCCのホームページ上で視聴可能であり、佐賀県におけるMOCCの活動が十分に認識された。さらに、国内で作成した小児がん患者長期フォローアップに関する小冊子は、患者・家族の心身両面における社会的支援の一つとして活用していきたい。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
小児がんに関する啓発事業	①WHO GICC, Global Gold September Campaignの一環として、国内外の小児がん治療の現状を知らせる ②医療従事者、小児がん患者・家族 ③ハイブリッドイベント	①令和4年9月25日 ②国立がんセンター	2,978,657	1,914,068
同上	①国際小児がんデー (ICCD)の一環として、国内外の小児がん治療の現状、家族の活動を知らせる ②医療従事者、小児がん患者・家族 ③ハイブリッドイベント	①令和5年2月5日 ②ニューオータニ佐賀	1,052,590	1,023,854
世界の小児がん研究者セミナー	①世界の小児がん治療の最前線からの研究発表「骨肉腫」 ②世界の小児がん研究者 ③オンラインセミナー	①令和4年12月3日 ②オンライン	480,706	480,706
小児がん患者のための長期フォローアップに関する事業	①小児がん患者のための長期フォローアップ ②小児がん患者およびその家族 ③小冊子の印刷	①通年 ②東京事務所内	258,940	258,940
アジアの小児がん関連団体の支援事業	①アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) 活動支援 ②APHOG委員 (EC, AC member) など ③ホームページ運営と広報・定期的国際ミーティング支援	①通年 ②東京・佐賀事務所内	290,558	136,393
計			5,061,451	3,813,961

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		5,309,804
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	4,113,580
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	3,867,790
	前年度控除額(県事務経費)還付分、固定IPアドレス取得支援	245,790
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	1,196,224

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		5,309,631
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	3,813,961
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	1,495,670
	返礼品等の調達に係る費用	616,774
	返礼品等の送付に係る費用	119,100
	広報に係る費用	108,900
	事務に係る費用	650,896

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	173
-------------------------------------	------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://mocc4u.org/info/>